



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.2)

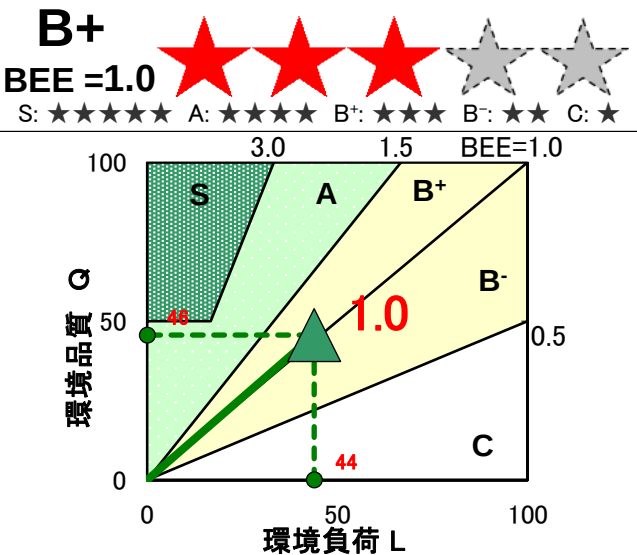
1-1 建物概要

建物名称	(仮称) 特別養護老人ホーム クローバー		
建設地	此花区高見2丁目		
建築用途	老人ホーム、福祉ホームその他これに類するもの		
建築主	社会福祉法人 緑修会		
設計者	(株) ライフ建築設計事務所		
敷地面積	1,389.42	m ²	
建築面積	862.82	m ²	
延床面積	3,963.22	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上6階
完了年(予定)	2022年2月		

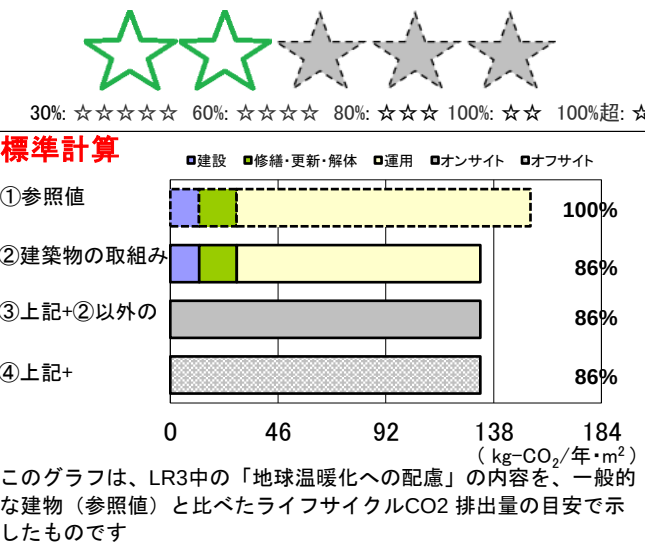
1-2 外観



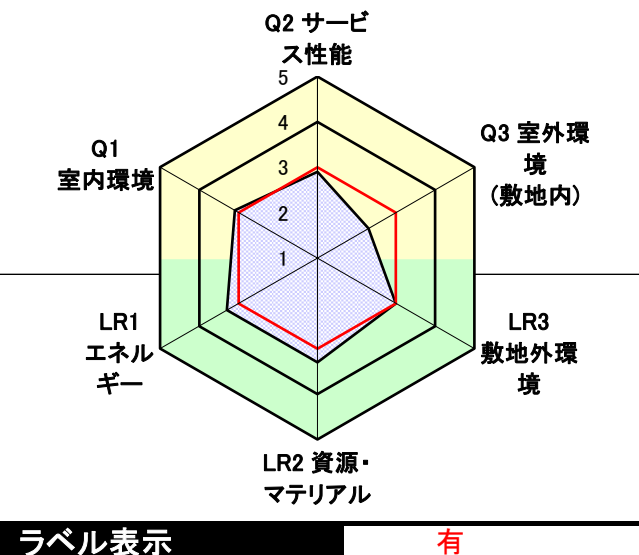
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

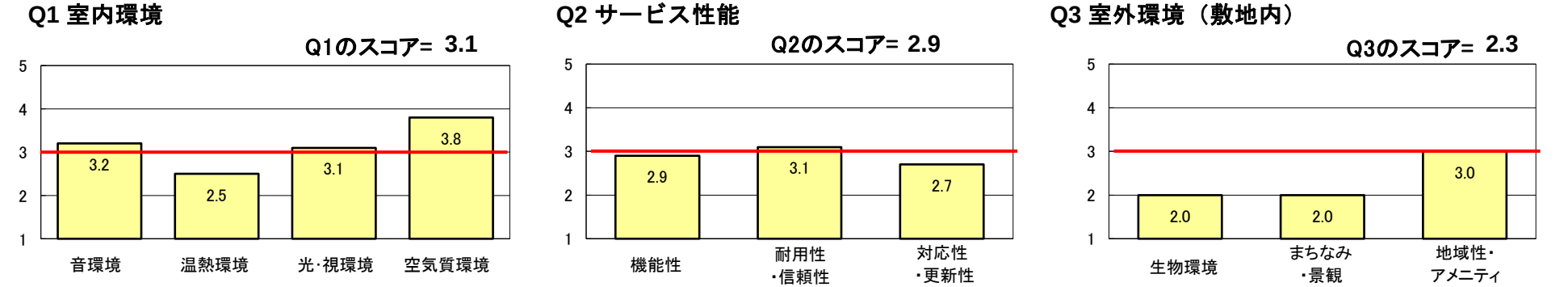


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

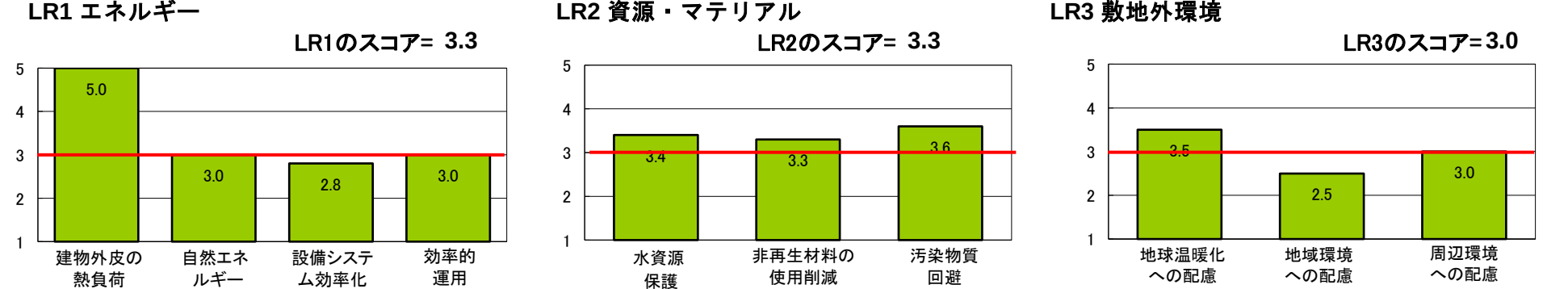


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



LR 環境負荷低減性



3 設計上の配慮事項

総合 ・建物の断熱材等、外皮性能向上に努めることで熱負荷低減を図った。 ・道路に面するエントランス周りは、周辺の景観に配慮し植栽計画を行った。		その他 ・雨水流出抑制の為、貯留槽を設けるとともに、雨水を散水等に利用できるホームダムを設置する。 ・電気自動車スタンドを駐車スペースに設置する。
Q1 室内環境 ・化学汚染物質発生をさせないため、規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用。	Q2 サービス性能 ・個室の広さに余裕を持たせ、居住者の居心地・快適性の良さを感じられる住環境になるように計画した。	Q3 室外環境 (敷地内) 建物の周囲に適切な植生を行う、緑化計画とした。1階に地域交流スペースを設け、施設提供による地域貢献に配慮し計画を行った。周囲からの視線を植樹でやわらかく遮りながらもテラスを設けることで周囲との一体感を作り出すよう配慮した。
LR1 エネルギー ・LED照明を採用するなど設備システムの高効率化を図った。	LR2 資源・マテリアル ・節水型の器具を採用した。 ・環境性能に配慮し、地球温暖化係数(GWP)の小さい断熱材を採用している。	LR3 敷地外環境 ・周辺環境に配慮し、適切な量の駐輪場及び駐車スペースを確保している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)C 此花区高見2丁目		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.5 LCCO2換算スコア:3.5
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率を14%削減し、環境性能へ配慮した。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0 外構緑化指数36.1%、敷地に適切な緑地づくり
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	2.0 舗装面積率15.1%
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0 地表面対策面積率22.5%
配慮事項	緑化計画等により、舗装面積率を15%としヒートアイランド現象の抑制対策をしている。敷地内に可能な限り植栽を植え、温熱環境に配慮した。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0 BPI _m =0.75
配慮事項	断熱性能の良い断熱材を採用し、日射熱を遮り居室への熱負荷を低減した。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	2.8 BEI _m =0.83
配慮事項	空調機は高効率モデルとし、照明器具は全てLED化を採用するなど設備システムの高効率化を図った。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEI_mが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEI_mが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPI _m]
	- (相当)	0.75
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]
	0.83	-
		非住宅部分[BEI][BEI _m]
		0.83

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所 此花区高見2丁目	☒ 屋根部 地上高さ（ 20 ） m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）																				
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり <table border="1"> <tr><td>方位</td><td>（ ）</td><td>高さ（約 ） m</td><td>水平距離（約 ） m</td></tr> <tr><td>方位</td><td>（ ）</td><td>高さ（約 ） m</td><td>水平距離（約 ） m</td></tr> <tr><td>方位</td><td>（ ）</td><td>高さ（約 ） m</td><td>水平距離（約 ） m</td></tr> <tr><td>方位</td><td>（ ）</td><td>高さ（約 ） m</td><td>水平距離（約 ） m</td></tr> <tr><td>方位</td><td>（ ）</td><td>高さ（約 ） m</td><td>水平距離（約 ） m</td></tr> </table>	方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m
方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m																		
方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m																		
方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m																		
方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m																		
方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m																		
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分																				

③ 日照条件に適合する場所の検討

ア 設置可能面積等	（ 68.4 ） m ² 方位（ 南 ） 設置角度（ 10 ） 度
イ 設置可能太陽光パネル面積	（ 27.3 ） m ²
ウ 設置可能容量	（ 3.9 ） kw
エ 利用設備に対する荷重対策	☒ あり ☐ なし
オ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

④ 導入判断

検討結果 ☐ 導入する → 具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☐ 躯体が荷重に対応できていない
☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
☐ 費用負担が大きい
☒ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他 （ ）

2 導入する設備の概要

ア 太陽光パネル面積	（ ） m ²
イ 発電容量	（ ） kW

備考

注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 20 ）m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）																				
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり <table border="1"> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> </table>	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分																				

③ 熱需要の条件等の検討

ア 建築物の用途	老人ホーム、福祉ホームその他に類するもの
イ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☒ 給湯 ☐ その他（ ）
ウ 設置可能面積	（ 68.4 ）㎡
エ 概算年間熱利用量	（ 148,841 ）MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
カ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

④ 導入判断

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☐ 年間を通じて安定した熱需要がない
☐ 躯体が荷重に対応できていない
☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
☒ 費用負担が大きい
☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他（ ）

2 導入する設備の概要

ア 集熱パネル面積	（ ）㎡
イ 概算年間熱利用量	（ ）MJ/年
ウ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他（ ）

備考

③エ 概算年間熱利用量の算出

$$68.37\text{㎡} \times 2,177\text{MJ/㎡年} = 148,841\text{MJ/年}$$